

プロペラ用防汚システム

必ずお読み下さい！

ニュー ペラクリンセット

施工要領

今までのペラクリンセットとは
塗装方法が異なります！

塗装作業に 必要なもの	■ Seajetシンナー-A 表面洗浄用	■ スクレーパー	■ 電動ディスクサンダー ペーパーディスク #60~80 塗り替えの場合、旧塗膜を全て削り取る必要 があります。また新規塗装の場合もプロペラ表面 を目粗しする必要がありますので、電動ディス クサンダーが必要です。（サンドペーパーなど での手研磨では作業が困難です。） ※国産料の技術者はこれを使っています。 ディスクサンダー 日立工機 G10SH3 ペーパーディスク ICHIGUTI パワフルディスク Z60	
	■ 水	■ たわしスポンジ		■ ウェス
	■ マスキングテープ	■ 保護メガネ		■ 防塵マスク
	■ 手袋	■ 帽子		



ペラクリンセット mini



約 0.3 m²用 220gセット

セット	ニューペラクリンプライマー	主剤	119g
内容	ニューペラクリンプライマー	硬化剤	21g
	ニューペラクリンフィニッシュ		80g
刷毛	2本		

ペラクリンセット Jr.



約 0.6 m²用 460gセット

セット	ニューペラクリンプライマー	主剤	255g
内容	ニューペラクリンプライマー	硬化剤	45g
	ニューペラクリンフィニッシュ		160g
刷毛	2本		

業務用サイズ「ニューペラクリンセットBig」(2.8kgセット)もご用意しております

今までのペラクリンセットとの違い

	ペラクリンセット	ニューペラクリンセット
プライマー	クロム酸亜鉛を含いため、医薬用外薬物に該当します。	クロム酸亜鉛を含まず、医薬用外薬物に該当しません。
防汚塗料	無色透明	不透明の黄色（塗ったところが分かりやすい）
塗り回数	プライマー 1回塗り 防汚塗料 2回塗り	プライマー 2回塗り 防汚塗料 1回塗り
施工方法	塗り結えの際の下地処理はサンドペーパー、ワイヤーブラシ等の使用が可能	塗り結えの際の下地処理は電動ディスクサンダーによる目出しが必要
セット内容	① プライマー 主剤 ② プライマー 添加剤 ③ プライマー 付着強化剤 ④ バイオクリン DK ⑤ 刷毛（2本）	① プライマー 主剤 ※付着強化剤は不要 ② プライマー 硬化剤 ③ フィニッシュ ④ 刷毛（2本）

使用上の注意

- 当社製品を安全にお取り扱いいただくために、製品説明書、SDS および製品容器に添付の警告ラベルを良く読んでご使用下さい。
- 2液型の製品は、主剤・硬化剤の配合比を正しく守って混合して下さい。また、混合後は可使用時間（20℃で90分）を超過し、塗料の硬化が進みますと塗装は出来ませんのでご注意ください。
- 塗料は、よく攪拌して均一になってから使用して下さい。
- 本製品はシンナーで希釈する必要はありません。
- 雨天、高湿度時の塗装は避けて下さい。
- 塗装時、保護メガネ・マスク、手袋等を着用して下さい。また、長袖・長ズボンなどで皮膚の露出は極力抑えて、塗料が付着してもよい服装で作業することをお勧めします。
- 塗料は倉庫内等の冷暗所に貯蔵して下さい。
- 本製品に当社が指定する塗料以外の添加剤等を混合すると、品質の異常や安全上の問題が発生する可能性があります。
- 使い終わった塗料は自治体のルールに従って正しく廃棄してください。

本製品の説明書に記載されている使用条件、使用上の注意事項等を逸脱した使用により生じる損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

作業の前に

作業時には保護メガネ・マスク・帽子・手袋を着用して下さい。また、長袖・長ズボンなどで皮膚の露出は極力抑えて、塗料が付着してもよい服装で作業してください。

雨天や高温多湿時、また気温が0℃以下の時には塗装を避けて下さい。

屋内で塗料やシンナーを使用する場合は、換気を充分に行ってください。

塗料やシンナーは火気のないところで使用してください。

使い終わった塗料は自治体のルールに従って正しく廃棄してください。

上架・洗浄

塗り替えの場合

プロペラに付着した海中生物や汚れをスクレーパーで、油汚れはシージェットシンナーAで拭いて除去してください。

新しいプロペラへの塗装の場合

プロペラに付着した油汚れをシージェットシンナーAで拭いて除去してください。



海中生物が付着した状態



海中生物や汚れを除去した状態

下地処理

塗り替えの場合

電動ディスクサンダーでプロペラの旧塗膜を全て除去してください。

さらにそのままプロペラ全面を研磨してください。

表面のダストをスポンジやたわしを使い清水で除去し、十分に乾燥させます。

新しいプロペラへの塗装の場合

電動ディスクサンダーでプロペラ全面を研磨してください。

表面のダストをスポンジやたわしを使い清水で除去し、十分に乾燥させます。



電動ディスクサンダーにペーパーディスク(#60~80粗目)を装着し研磨



表面を研磨した状態

研磨の際に火花が出る場合がありますので、塗料やシンナー類の近くでの研磨作業は行わないようにしてください。

プライマー塗装 (2回塗り)

プロペラのマスキング

羽根の先端は塗り残すためマスキングテープでマスキングします。



主剤 (A 缶) と硬化剤 (B 缶) の混合

ニューペラクリンプライマーの主剤 (A 缶) に硬化剤 (B 缶) を全量加え、充分に攪拌してください。

主剤: 硬化剤 = 85:15 (重量比)
※A缶とB缶を全て混ぜると85:15になります。



プライマー塗装 (1 回目)

攪拌後、すぐに専用刷毛でプロペラの素地が見えなくなるようにていねいに塗装してください。

90分

乾燥

30分

時間が経つと塗料が硬化し、2回目の塗装ができなくなりますのでご注意ください。

プライマー塗装 (2 回目)

1回目と同じ刷毛で2回目を塗装してください。

乾燥

プライマー2回塗りの後、防汚塗料の塗装までに以下の時間乾燥させてください。

気温	5℃	10℃	20℃	30℃
防汚塗料塗装までの期間	7~24時間	5~24時間	3~24時間	2~24時間

プライマーは塗装後24時間を経過すると粘着力が低下しますので、上記時間を遵守してください。

フィニッシュ塗装 (1回塗り)

ニューペラクリンフィニッシュ (C 缶) を充分に攪拌後、2本目の刷毛で塗り残しのないようていねいに塗装します。

乾燥

ニューペラクリンフィニッシュの塗装後、以下の時間、乾燥させてください。

気温	5℃	10℃	20℃	30℃
浸水までの時間	24時間	15時間	8時間	6時間

マスキングテープを剥がして...

完成・下架

